

公共施設の 見直しと将来像

みんなで
考えよう!

多摩市
政策情報誌
vol.5

(平成29年11月発行)

特集

多摩センターの魅力発信基地 バルテノン多摩が目指すもの



目次

多摩センターの魅力発信基地 バルテノン多摩が目指すもの ～松井望氏と阿部市長の対談～	2～3ページ
こんなことを検討しています	4ページ
多くのご意見をいただいています！ 市民ワークショップの意見、専門家の意見	5～7ページ
バルテノン多摩大ホールの使用中止について、多摩市公式ホームページの情報もご覧ください！、 未来を描きます！ ～ご協力をお願いします～（市長から一言）	8ページ

多 摩市は公共施設のあり方と今後の方向性を示す「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を平成25年に策定し、平成28年11月に内容を更新しました。「安全に使い続ける」「施設全体のダイエツト」「時代のニーズに合わせた施設への機能転換」の3つの目的で、市内の各施設の機能や配置について指針を取りまとめています。

バルテノン多摩は、築30年を目途に大規模改修を行う予定ですが、市議会から、平成28年度当初予算案の採択にあたり、「事業費の削減」「多摩センター地域全体の活性化」「市民・市議会との情報共有」を求める附帯決議があり、さらに市議会は、「バルテノン多摩・周辺施設整備等特別委員会」を設置し、現在も検討が行われています。

今号はバルテノン多摩の現状や大規模改修の考え方、検討状況等について市民の皆さんと情報を共有するために発行しました。

多摩センターの魅力発信基地

パルテノン多摩が目指すもの



©多摩市

～ 松井 望氏と阿部市長の対談 ～

パルテノン多摩をはじめとする多摩センター地区の活性化や、現在、市や市議会で行われている検討について、都市政策の専門家である首都大学東京の松井望教授にご意見を伺いました。



松井 望氏
(まつい のぞみ)
首都大学東京 都市教養学部
都市政策コース 教授。
行政学、都市行政論が専門。
多摩市では、市民提案型まち
づくり事業補助金評価市民委
員会(2005～2007年)、行政評価市民委員会、
行政評価市民フォーラム(2011～2014年)、指
定管理者候補者選定委員会(2015年)に関わる。

パルテノン多摩って、どんな施設？

市長 パルテノン多摩は、総工費約80億円をかけて建てられ、昭和62年に開館した複合文化施設です。コンサートや演劇等を開催できる大・小2つのホールや、博物館機能があり、市内外から年間約50万人の方々にご利用いただいています。

松井 「多摩市施設白書※1」を見ますと、パルテノン多摩の利用者はおおむね増加傾向にあります。市民に限らず幅広く利用されていることが分かります。

市長 建設から約30年が経ち、施設や機器等が老朽化しています。施設運営上のリスクを抱えており、安全に利用いただくために、大規模改修を行う必要があります。

松井 パルテノン多摩が建設された当初の理念に比べれば現在の利用状況も変わりつつあるようです。

現在の利用状況を踏まえ、より広く利用され続けるためにこれからのパルテノン多摩の役割を考えなおす時期なのではないでしょうか。

「面」の視点での改修が必要

市長 パルテノン多摩は市民の文化芸術の振興だけでなく、**集客による経済効果や多くの人々の集いと賑わいの創出等**、多摩センター地区活性化の中心的な役割を果たすべき施設です。多摩センター地区のみならず**多摩市全体を元気にする牽引役**として、これからもより多くの方々にご利用いただきたいと考えています。

松井 昨年度、わがまち学習講座※2と連携して、学生と一緒に多摩センター地区の賑わいの現状を調べてみましたが、この地区の賑わいには、多摩中央公園という地域資源を活用することが大切だと思います。

現在のパルテノン多摩が多摩中央公園への視線を遮る壁のようにになっていることも一因かもしれませんが、賑わいの機能をもつためには、多摩センター地区の各施設の管理主体、また商業等の運営主体が連携する必要があると思います。

つまり、単に一つの施設を改修するという「点」の視点だけではなく、**多摩センター地区、さらには多摩市全域を考慮した「面」の視点から、パルテノン多摩の改修が必要になっている**のではないのでしょうか。



外壁のヒビ



雨水配管の状況(大階段脇)

※1 「多摩市施設白書」…各施設の建物情報や事業運営経費等を掲載

※2 わがまち学習講座…いろいろな人とつながり、地域活動をはじめのきっかけづくりを行う市主催の講座

改修のお金は どうなっているの？

市長 改修工事の財源には都市計画税及び都市計画基金を活用する予定です。**この改修工事のために、市民の皆さんが新たに費用を負担することなく、かつ、市で実施している福祉や子育てなど他の事業に影響はありません。**

松井 限られた財源のなかで市民の皆さんへの新たな負担増加を抑制しながら、都市計画基金等を活用できる見込みになったのは財源調達としては堅実な手段と言えそうです。



パルテノン多摩はどうなっていくの？

市長 市議会からも改修案が出されています。

松井 行政側からの計画案とともに、市議会からも複数案を検討されるとは、市議会は大変精力的ですね。8月には市民との意見交換会が2回開催され、活発に議論が展開されているようですね。まさに「多摩市議会基本条例」が述べるように、**市民とともに行動する議会**と言えそうです。

しかし、議論を積み重ねるにしても、タイムリミットは明確にする必要がありますね。特に、**施設利用の安全性を維持するための費用の点、今後の運営の費用負担の点、そして、多摩センター地区全体での面的な活性化を実現する点**など、様々な視点から、タイムリミットを意識しながら議論をする必要があるのではないのでしょうか。

実績と現状を踏まえた施設のあり方検討を

市長 市は専門家や市民の皆さんから意見をいただきながら、改修内容の工夫と精査、多摩センター地区の更なる賑わいづくりも含めて検討を進めています(本誌4～6ページ参照)。

松井 なるほど。**多摩センター地区という面的な活性化への期待**がきっかけとなり、パルテノン多摩の改修案に議論が広がっているのが現状のようですね。

しかし、まずはなによりも**多摩市の実績と現状を踏まえた、これからの施設のあり方の検討**が必要です。

多くの案のもとで議論することは、アイデアが広がり、さらには施設のあり方への意識も高まり大変素晴らしいことだと思います。とはいえ、アイデアをアイデアで終わらせないためには、改修する費用とともに改修後の運営費用と、その資金の調達方法をあわせて示すことが必要です。

そして、複数の案の決め方は大切です。他の地域では、意見が分かれる場合には、選挙や住民投票で争点化をして住民の判断を求める場合があります。他方で、いままで議論を重視してきた多摩市の経験からは、徹底した議論をすることが適切なように思います。多摩市は、パルテノン多摩の改修をテーマに、民主主義を実践されています。そのためにも、**全ての市民が自ら関心を持ち、決断することが期待**されます。

市、市議会の取り組みについて、4ページ以降に掲載しています。是非ご覧ください！

こんなことを検討しています



パルテノン多摩の大規模改修について、市民の皆さん、専門家のご意見をいただきながら検討しています。市議会も独自に特別委員会を設置し、議会としての調査、検討を進めています。

市議会の取り組み

平成28年度当初予算の議決「附帯決議」(市への要望)
【内容】パルテノン多摩大規模改修について

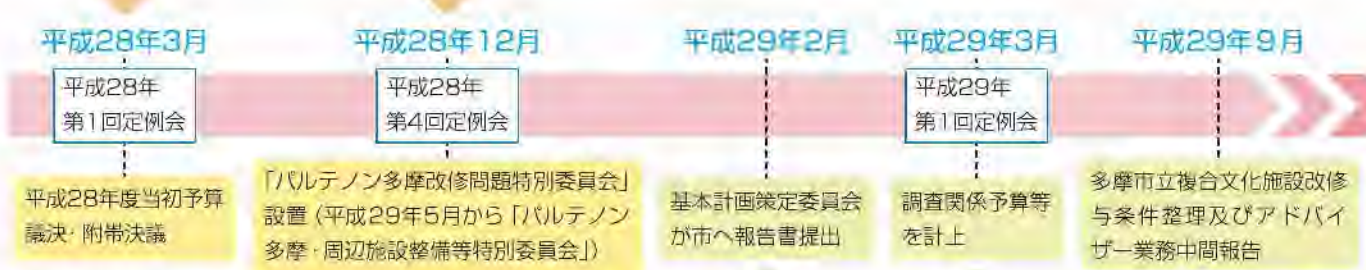
- 多様な財源を活用して後年度負担が膨大にならないようにすること
- 多摩センター地域全体の更なる活性化につながるよう工夫すること
- 広く市民・市議会と情報共有、意見の反映に努めること

審議中

「パルテノン多摩・周辺施設整備等特別委員会」

- 市議会議員で構成
- 市議会独自に、パルテノン多摩改修問題等について調査・検討

※パルテノン多摩と市役所本庁舎、図書館本館の合築案は検討しないこととしました。



市の取り組み

「多摩市立複合文化施設等大規模改修工事基本計画策定委員会報告書」提出

- 学識経験者、市民等で構成
- 大規模改修工事の基本計画等について検討
- 基本理念は「文化・芸術を通して、みんなが喜び、つながり、まちの魅力を創造する」

平成29年度補正予算に調査関係予算等を計上 ※市議会議決

- 市議会独自の調査・検討費用
- 市民ワークショップ開催費用
- 多摩センター地区活性化支援業務
- ホール専門家の検証費用

概算工事費(検討中) ※平成29年9月時点

約75億円

老朽化対応 約46.2億円	安全への配慮 約8億円	更なる価値の創造 約20.7億円
------------------	----------------	---------------------

平成29年度補正予算に基づき、パルテノン多摩の大規模改修工事に関する市民ワークショップや、ホール専門家等による「更なる価値の創造(機能・利便性の向上)」に関する検証作業を行いました。その結果、概算工事費(税込、設計費用等は除く)は、平成29年9月時点で約75億円となっています。市では引き続き、その内容について精査していきます。

パルテノン多摩は多摩中央公園の公園施設として東京都から都市計画事業認可を受ける見込みのため、都市計画税及び都市計画基金(これまで都市計画税を積みたててきた基金)の一部を活用する予定です。

市の取り組み紹介は次ページ以降に続きます。

多くのご意見をいただいています！



市民ワークショップの意見

多様な視点からパルテノン多摩に対する意見をいただくため、市民ワークショップを開催しました。

平成29年6月～7月に実施し、市内中学生を含む、延べ222人が参加しました。



市民ワークショップの様子

市民の皆さんから市長への提言

～理想のパルテノン多摩とは～
 <10年後を想定したあり方>
 10年後の多摩センター地区をイメージしたキャッチコピーや活用イメージなどを話し合いました。



中学生からも意見をいただきました

《キャッチコピー》

毎日が
ワクワクする場所

WAO! パルテ

パルテノンにキティ

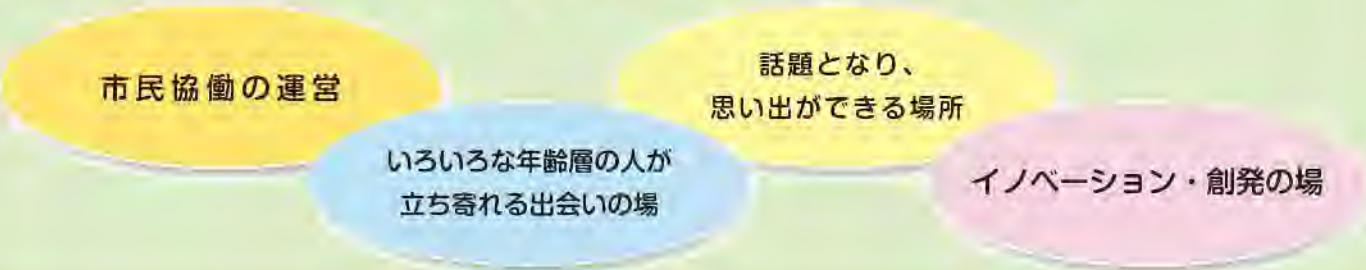
エブリデイドリーム
日常も非日常もいつもチャレンジ!

《活用イメージ》

- (便利で) 魅力的な施設を併設する
 - 多世代が自由に使える場所をつくる
 - 環境にやさしいエネルギーシステムをつくる
 - バリアフリー、ユニバーサルデザインに対応する
- パルテノン多摩
- 多くの人が利用し、適切な予算によって施設運営を行う
 - 多世代、多様な人が交流できる事業を考え、市民が運営に参加する
 - ロケーションを活用したイベントを行う



理想のパルテノン多摩を実現するための基本的な柱(考え方)



専門家の意見

学識経験者、公共ホール実務家、舞台技術専門家等の皆さんからも次のような提案をいただきました。

多面的な視点からみた複合文化施設のあり方を考えることが必要

- 舞台設備機器はデジタル化、ネットワーク化を考慮し、導入を検討する。
- 大規模改修でしか出来ないこと、長寿命化に必要なことはやり残さない。
- 施設の機能ごとの使われ方や運営等にに応じた改修を考える。
- 運営にかかる経費を含めた、施設全体にかかる費用を経営的視点で考える。
- まちづくり、観光、国際交流、福祉、教育、産業等と連携する。



上空から見た多摩中央公園周辺

公益財団法人多摩市文化振興財団 所蔵

パルテノン多摩改修による多摩センター地区の活性化に向けて

多摩中央公園を核とした面的な活性化のためには、全体を考えて実際に活動する組織と評価指標が重要

- 現在のパルテノン多摩に付加価値を付けて改修することで、さらに人の回遊性が生まれる。
- 改修したパルテノン多摩、図書館、グリーンライプセンター(GLC)、旧富澤家、桜美林大学多摩アカデミーヒルズで構成する多摩中央公園を「面」としてとらえ、文化と学びのキャンパス(クリエイティブキャンパス)のような場所がまちの中心にできることで、多摩センター地区、多摩市全体が活性化する。
- 「面」ととらえた多摩中央公園全体を管理・運営する組織を作り、利用のしやすさやイベントの実施数など、運営の評価基準を作ることが重要。



専門家から見た多摩センター地区及びクリエイティブキャンパスのイメージ



大規模改修は、事業運営のあり方を大きく変えるチャンス

将来の施設のあり方を見据えた検討が必要

日本の自治体は、首長と議会二つの代表から構成される二元代表制と呼ばれている。これは、一つの代表が極端な行動をとらないように、お互いを監視しあうための仕組みである。そして、多摩市ではこの二つの代表がそれぞれの判断と行動をすすめるうえで、常に**市民との対話**を重視してきた。これは、多摩市自治基本条例と多摩市議会基本条例という二つの基本条例をもつ**多摩らしさ**でもある。反面、意思決定には時間がかかることになる。

もちろん、全ての者が納得するまで悠々と議論し、結論を目指すことは、民主主義の姿であろう。とはいえ、議論のための時間も恒久にはない。パルテノン多摩の場合、老朽化が進むなかでの**施設の安全性の確保**、現在の施設利用が途絶えることがないように**改修期間の設定**、そして、**多摩センター地区における持続ある活性化の展開**という、迫り来るいくつもの課題がある。そのため、限られた期間の中で議論をしなければならない現状にあるだろう。

現状では、パルテノン多摩の改修には市案に対して複数の議会案が提示されている。論点は、**施設の改修費の抑制**、**多摩センター地区の活性化**、**市民参加による検討**である。市案と議会案は、多摩センター地区、そして、多摩市の中でパルテノン多摩の重要性を認め、「**パルテノン多摩を存続する**」という点で共通している。

施設の耐久は60年間と考えられている。これを踏まえれば、この度の改修の更に30年後には、施設自体のあり方について、必要性が問われることになるだろう。この度の改修は、**これまでの施設利用の実態を踏まえた迫り来る課題への対応と、将来の施設のあり方を見据えたなかで、費用と財源、地区全体の活性化、そして、改修後の運営方式の検討と決断が必要**ではないだろうか。

首都大学東京 松井 望

市からのお知らせ ■ 多摩市メール配信サービスをご利用ください！

市内で発生した不審者出没・犯罪発生等の情報や、市からの各種お知らせ、高齢者行方不明情報等を、携帯電話やパソコンへ配信するメール配信サービスを行っています。希望する方は、市公式ホームページ、もしくは右記から登録ができます。▶▶▶



《問い合わせ》企画政策部 秘書広報課 TEL: 042-338-6812

お知らせ：パルテノン多摩大ホールの使用中止について

パルテノン多摩は、施設の老朽化が進んでおり、突発的な不具合が発生する可能性があります。不具合発生の際、特に大ホールは多くの皆様にご迷惑をおかけする等、影響が大きいことから、平成30年12月1日から使用中止となります。

大ホール以外の施設は、引き続きご利用いただけるよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いたします。

《問い合わせ》くらしと文化部 文化・市民協働課 TEL：042-338-6882

多摩市公式ホームページの情報もご覧ください！

パルテノン多摩大規模改修の検討状況は随時、市公式ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。

市の取り組み「多摩市立複合文化施設（パルテノン多摩）大規模改修事業」
市公式ホームページのトップ画面から

パルテノン多摩 大規模改修 🔍 検索

今、市ではどんなことを検討しているの？

市は改修に向けてどんな方針なの？

今までに実施した説明会やアンケート、ワークショップの内容について知りたい！

未来を描きます！～ご協力をお願いします～

全国的な課題である公共施設の更新問題ですが、多摩市も例外ではありません。これから先、持続可能なまちを目指していくためには、市民の皆さんに道路や下水道などの都市基盤も含めた公共施設の状況をしっかり知っていただくことから始まると考えています。

パルテノン多摩は“ふるさと多摩”の象徴であり、レガシーだと思っています。大学をはじめ、若者や企業群との連携、文化・芸術・情報発信の場、そして何よりも市民が主役の大事な“表現の場”です。

パルテノン多摩が「多摩センターの魅力発信基地」として、市民の皆さんの憩いの場となるよう、そして、未来を担う子どもたちにとって憧れの芸術・文化の拠点となるよう、皆さんと一緒に未来を描いていきたいと考えております。

今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

多摩市長 阿部 裕行

発行：多摩市 〒206-8666 東京都多摩市関戸6-12-1 編集：企画政策部 行政管理課
TEL：042-338-6948（直通） FAX：042-337-7658

